

INFORMATION

No. 1703-11

ABC健診、ABCD健診における H.ピロリ抗体《定量》の 判定基準の変更に関するお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、認定NPO法人 日本胃がん予知・診断・治療研究 機構から出された「新しいABC分類 胃がんリスク層別化検査（ABC分類）2016年度改訂版 運用の手引き」により、ヘリコバクターピロリ抗体／EIAの判定基準が変更となりました。これに基づき、下記検査項目のヘリコバクターピロリ抗体／LA法の判定基準を変更させていただきたく、ご案内いたします。

先生方には急なご連絡で大変ご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬具



■変更内容

コード	検査項目名	変更箇所	新	旧
4459	ABC健診	ヘリコバクターピロリ抗体／LA法： 陰性判定基準	3以下	10未満
4460	ABCD健診			

◇上記検査項目におけるH.ピロリ抗体検査の(陰性)判定基準を10未満 U/mLから3以下 U/mLに変更致します。

(参考資料:裏面をご参照ください。)

■変更実施期日

平成29年 4月 1日(土) 受領分より

株式会社 武蔵臨床検査所

* お問い合わせは当社または担当者までお願いいたします。

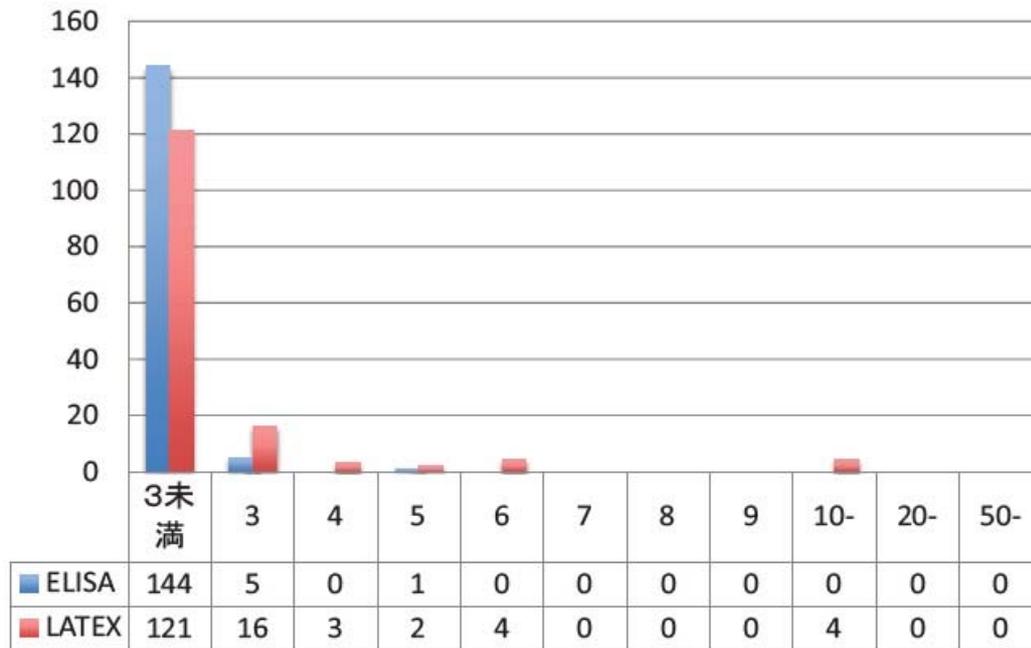
〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8

TEL 04-2964-2621 FAX 04-2964-6659

URL <http://www.e-musashi.co.jp>

ピロリ未感染者における抗体価分布

補足資料



Eプレート：3U/mL未満の未感染者 ≡ LZ：3U/mL以下の未感染者

◇Eプレート(栄研:EIA)

◇LZ(栄研:ラテックス凝集法/LA法)

「青山 伸郎、繁田 さとみ、横崎 宏:厳密なピロリ感染診断に基づいたピロリ抗体 Eプレート、ラテックス凝集法の比較」日本ヘリコバクター学会誌 2017;18:4-11 より改変

(資料提供 栄研化学株式会社)

※ 2015年6月30日の日本ヘリコバクター学会の注意喚起では、「H.ピロリ抗体が陰性であっても低値でない場合、胃がんリスクがない(A群)と判定しないでください。」とされています。

※ 3 U/mLから10 U/mL未満(陰性高値)で除菌する場合には、必ず他の方法(尿素呼気試験、便中 *H.pylori* 抗原測定など)で *H.pylori* 検査を行い、ピロリ菌の存在診断を実施することが必要です。
(日本胃がん予知・診断・治療研究機構 より)

※臨床診断では、従来通り、10 未満 U/mLが陰性となります。